

届 出 書

令和 年 月 日

足立 区長 殿

フリガナ
発注者又は自主施工者の氏名(法人にあつては商号又は名称及び代表者の氏名)
(郵便番号 ー)電話番号 ー ー
住所
(転居予定先) (郵便番号 ー)電話番号 ー ー
住所

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第10条第1項の規定により、下記のとおり届け出ます。

記

1. 工事の概要

- ①工事の名称
②工事の場所 足立区
③工事の種類及び規模
□建築物に係る解体工事 用途、階数、工事対象床面積の合計 m2
□建築物に係る新築又は増築の工事 用途、階数、工事対象床面積の合計 m2
□建築物に係る新築工事等であつて新築又は増築の工事に該当しないもの
用途、階数、請負代金 万円
□建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等 請負代金 万円
④請負・自主施工の別: □請負 □自主施工

2. 元請業者(請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)

- フリガナ
①氏名(法人にあつては商号又は名称及び代表者の氏名)
(郵便番号 ー)電話番号 ー ー
②住所
③許可番号(登録番号)
□建設業の場合
建設業許可 号 (工事業)
主任技術者(監理技術者)氏名
□解体工事業の場合
解体工事業登録 知事 号
技術管理者氏名

3. 対象建設工事の元請業者から法第12条第1項の規定による説明を受けた年月日
(請負契約によらないで自ら施工する場合は記載不要)

令和 年 月 日

4. 分別解体等の計画等

- 建築物に係る解体工事については別表1
建築物に係る新築工事等については別表2
建築物以外のものに係る解体工事又は新築工事等については別表3
により記載すること。

5. 工程の概要

(工事着手予定日) 令和 年 月 日
(工事完了予定日) 令和 年 月 日

(できるだけ図面、表等を利用することとし、記載することができないときは、「別紙のとおり」と記載し、別紙を添付すること。)

(注意)

- 1 □欄には、該当箇所に「レ」を付すこと。
2 記名押印に代えて、署名することができる。
3 届出書には、対象建設工事に係る建築物等の設計図又は現状を示す明瞭な写真を添付すること。

※受付番号

委 任 状

私は都合により・ を代理者と定め、下記の建築物等の工事について、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律第10条に基づく届出その他の手続きを委任します。

記

1. 工 事 の 名 称

2. 工 事 の 場 所

3. 代理者の会社名・連絡先

氏 名		
会 社 名		
住 所		
所 属 部 署		
役 職		
連絡先（勤務先）		
連絡先（携帯）		
連絡先（E-mail）		

令和 年 月 日

住 所

フリガナ
氏 名

※代理者は、複数定めることが可能です。必ず1名は、実際に届出窓口に来る方、オンライン申請の入力業務を行う方を指定してください。

分別解体等の計画等

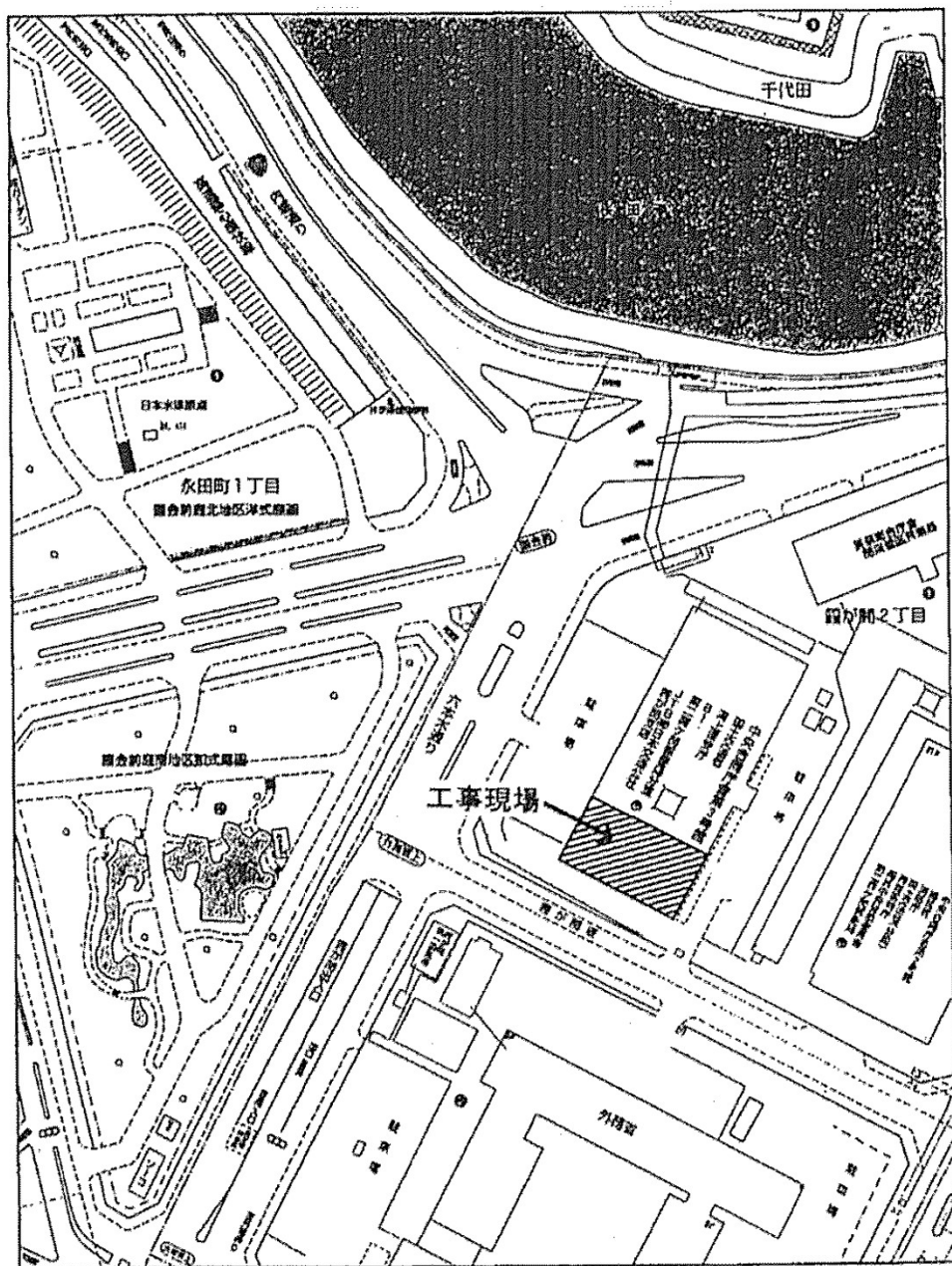
建築物の構造		☐ 木造 ☐ 鉄骨鉄筋コンクリート造 ☐ 鉄筋コンクリート造 ☐ 鉄骨造 ☐ コンクリートブロック造 ☐ その他()		
建築物に関する調査の結果	建築物の状況	築年数____年、棟数____棟 その他()		
	周辺状況	周辺にある施設 ☐ 住宅 ☐ 商業施設 ☐ 学校 ☐ 病院 ☐ その他() 敷地境界との最短距離 約____m その他()		
建築物に関する調査の結果及び工事着手前に実施する措置の内容	建築物に関する調査の結果		工事着手前に実施する措置の内容	
	作業場所		作業場所 ☐ 十分 ☐ 不十分 その他()	
	搬出経路		障害物 ☐ 有() ☐ 無 前面道路の幅員 約____m 通学路 ☐ 有 ☐ 無 その他()	
	残存物品		☐ 有 () ☐ 無	
	特定建設資材への付着物	石綿	☐ 有 ☐ 飛散性石綿（吹付け石綿、石綿含有吹付けロックウール等） ☐ 非飛散性石綿（石綿含有ビニール床タイル等） ☐ 無	☐ 飛散性石綿に関する諸官庁届出（大防法、労安衛法・石綿予防規則等） ☐ 飛散性石綿の適正処理の実施 ☐ 非飛散性石綿の適正処理の実施
		その他	☐ 有 () ☐ 無	
	その他（特定建設資材に付着していない有害物質）	石綿	☐ 有 ☐ 飛散性石綿（鉄骨等に吹付けられた石綿、石綿を含有する断熱材・保温材・耐火被覆材等） ☐ 非飛散性石綿（スレートボード等） ☐ 無	☐ 飛散性石綿に関する諸官庁届出（大防法、労安衛法・石綿予防規則等） ☐ 飛散性石綿の適正処理の実施 ☐ 非飛散性石綿の適正処理の実施
		その他	☐ 有 () ☐ 無 ☐ フロン類使用機器あり	☐ フロン類回収済 ☐ フロン類回収予定
工程ごとの作業内容及び解体方法	工程		作業内容	分別解体等の方法
	①建築設備・内装材等		建築設備・内装材等の取り外し ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()
	②屋根ふき材		屋根ふき材の取り外し ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用 併用の場合の理由()
	③外装材・上部構造部分		外装材・上部構造部分の取り壊し ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
	④基礎・基礎ぐい		基礎・基礎ぐいの取り壊し ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用
⑤その他()		その他の取り壊し ☐ 有 ☐ 無	☐ 手作業 ☐ 手作業・機械作業の併用	
工事の工程の順序		☐ 上の工程における①→②→③→④の順序 ☐ その他() その他の場合の理由()		
□内装材に木材が含まれる場合		①の工程における木材の分別に支障となる建設資材の事前の取り外し ☐ 可 ☐ 不可 不可の場合の理由()		
建築物に用いられた建設資材の量の見込み		トン		
廃棄物発生見込量	特定建設資材廃棄物の種類ごとの量の見込み及びその発生が見込まれる建築物の部分	種類	量の見込み	発生が見込まれる部分(注)
		□コンクリート塊	トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤
		□アスファルト・コンクリート塊	トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤
		□建設発生木材	トン	☐ ① ☐ ② ☐ ③ ☐ ④ ☐ ⑤
(注) ①建築設備・内装材等 ②屋根ふき材 ③外装材・上部構造部分 ④基礎・基礎ぐい ⑤その他				
備考				

(参考様式)

案 内 図

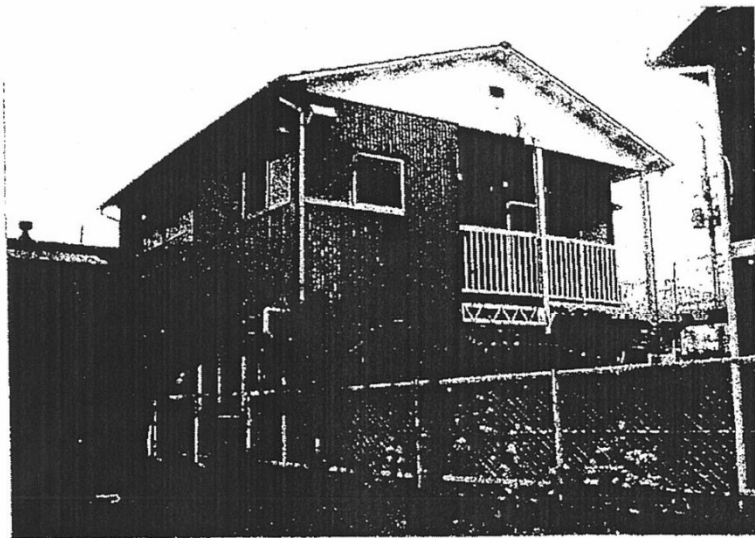
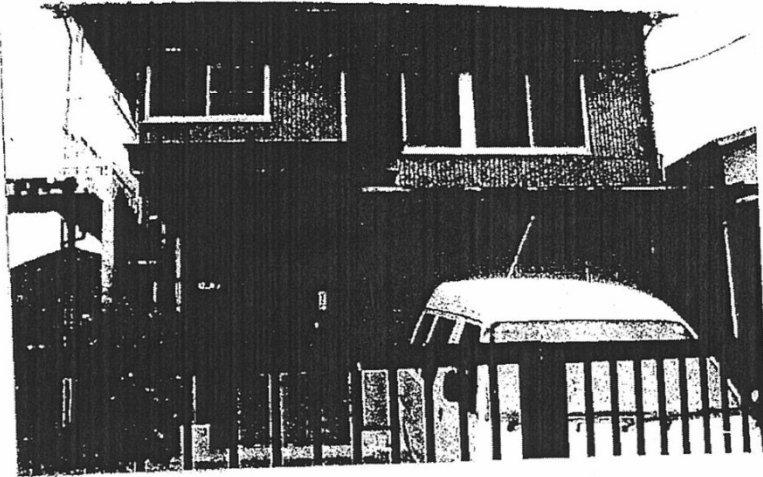
作成例

現 場 位 置 図



設計図又は写真

作成例



(解体工程)

工事件名

工 程 表																								
解体種別 / 月 日																								備 考
①設備・内装・建具等																								
②屋根ふき材																								
③外装材																								
④上部構造																								
⑤下部構造																								
⑥基 礎																								
⑦外 構																								
⑧その他 ()																								

※作業内容、構造上、技術上この表により難しいものはそれらによる。またA 4 ヨコであれば別の様式の工程表によることができる。